

Universal Design

自分の身体にピッタリくるキッチン探し

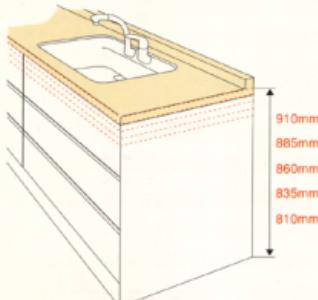
キッチンは、日常でも何度も足を運ぶ場所。

自分の身長に合う高さ選びや、

作業の軽減を図ったツールで使いやすいキッチンワークに！

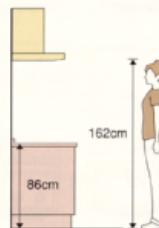
身体の動きを考えた新しい仕様

■ カウンターが5段階バリエーションに



5段階バリエーションで身長差や、年齢層に対応
高さ2.5cm単位の親切対応。無理にかがむ姿勢になったり、腰が高くて疲れたりなどから回避されます。

■ カウンターの高さの選び方

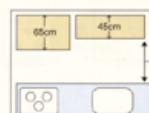


カウンター高さ目安

$$\text{身長} \div 2 + 5\text{cm}$$

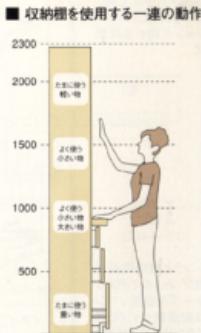
例) 身長162cmの場合
162cm÷2+5cm=86cm

■ キッチン作業の一連の動作と姿勢



身体の動きを考えた商品選び

シンクと調理機器の後の収納棚は、作業効率を考えて選びましょう。壁に付いたコンロ後ろには、奥行のある収納棚でも可能ですが、シンクの後ろは出入りもあるので奥行の狭い収納棚を。



収納する位置を使用頻度に合わせて

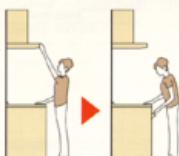
収納棚の中にしまう食器などは、使用頻度に合わせて高さを決めましょう。よく使う物は目線や、手が届く範囲に。軽い小さい物は高い位置に、重い物は足元に収納すると便利です。

身体の動きを考えた商品選び

自動運動 運転

従来のレンジフードのほとんどが、手を伸ばしたところにスイッチが、TOTOのシステムキッチンのレンジフードは、ガスのスイッチを入れると同時にフードも運転を開始するので手を伸ばす必要がありません。
(※換気運動タイプのみ)

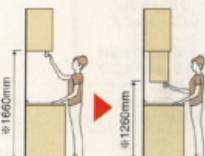
※商品の詳細はP.64を参照ください。



電動昇降式 食器乾燥庫

立って使えば、目の高さで食器乾燥庫に出し入れできます。座ったままで同じく、ラクラク作業が可能。リモコン操作なので昇降も簡単。

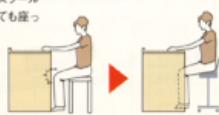
※カウンター高さ860mmの場合
※商品の詳細はP.73-85を参照ください。



フロア キャビネット (ニースペースタイプ) + スツール

カウンターの下に足が入れられるニースペースタイプのキャビネット。高さを自由に調整できるスツールを組み合わせれば、立っても座っても作業のしやすいキッチンが上がりります。

※商品の詳細はP.78-79を参照ください。



ラクラク 操作パネル

従来のコンロの操作は、かがまないと見づらい場合がほとんど。TOTOシステムキッチンのコンロは、温度調節の操作がしやすくなっています。

※商品の詳細はP.56-60を参照ください。

